

サステナビリティ基本方針



タキロンシーアイのサステナビリティに関する取り組みは、WEBサイトをご覧ください。
<https://www.takiron-ci.co.jp/sustainability/>

サステナビリティ基本方針

私たちは、「人と地球にやさしい未来を創造する」使命のもと、サステナビリティの推進に努め、事業活動を通じ、高い収益性と企業価値の向上を目指します。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 環境保全への取り組み | 4. 公正・適正な取引と持続可能な調達 |
| 2. ダイバーシティ&インクルージョンの推進 | 5. ガバナンスの高度化 |
| 3. 人権尊重 | 6. 持続的な企業価値の向上 |

サステナビリティに関する主要指標 (2025年度実績)

E	GHG排出量(Scope1・2)【連結】※1		排出物総量【単体および国内グループ会社】※1	
	75,707t-CO ₂ e		7,801t	
S	管理職に占める女性比率※2	総合職に占める女性比率	従業員エンゲージメント肯定回答率	
	2.9%※3	22.9%※3	70.6%	
G	労働災害における度数率※4【連結】※1	CSR調達アンケートの実施回数		
	2.12	1回		
G	重大なコンプライアンス違反件数			
	0件			

※1 GHG排出量・排出物総量・度数率以外の対象範囲は、タキロンシーアイ単体

※2 管理職相当の職位も含む

※3 2026年3月末時点

※4 100万延べ実労働時間当たりの労働災害による休業者数

サステナビリティに関する取り組み

2025年度、タキロンシーアイグループでは全従業員を対象にGHG排出に関するe-ラーニングと理解度確認テストを実施し、高い受講率と理解度が確認されました。これにより、気候変動対策や環境負荷低減への意識が一層浸透しました。2026年度以降も継続して環境サステナビリティに関するe-ラーニングを実施し、全社的な意識醸成と具体的な行動変革を着実に推進してまいります。

サステナビリティに関する2025年度の実績

中期経営計画におけるサステナビリティ重点テーマである「気候変動」と「ダイバーシティ」と、近年取引先から取り組み強化を求められている「サプライチェーンマネジメント」を加えた3テーマを、2025年度の重点活動テーマに設定し、サステナビリティ委員会にて活動内容を議論しました。

1 気候変動

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・気候変動に関する社内周知啓発施策の実施

2 ダイバーシティ

- ・グローバル人材の育成
- ・D&I推進の取り組み
(働き方改革/多様な人材の活躍推進)
- ・D&Iに関する社内周知啓発施策の実施

3 サプライチェーンマネジメント

- ・持続可能なサプライチェーンマネジメント
実行に向けた課題特定と対応策の立案



タキロンシーアイシビル(株)赤穂工場設置の太陽光パネル



タキロンシーアイシビル(株)土浦工場設置の太陽光パネル

2026年度取り組みテーマ

1 気候変動

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・気候変動に関する社内周知啓発施策の実施

2 ダイバーシティ

- ・グローバル人材の育成
- ・多様な人材の活躍推進
- ・D&Iに関する社内周知啓発施策の実施

3 サプライチェーンマネジメント

- ・持続可能なサプライチェーンマネジメントの制度設計
- ・人権デューデリジェンス実施体制の構築
- ・人権に関する社内周知啓発施策の実施

環境

「人と地球にやさしい未来を創造する」企業として
環境保全に取り組んでいます

タキロンシーアイグループは2050年度カーボンニュートラル(実質排出量0)を目指します

中間目標として2030年度に排出する温室効果ガス(GHG)排出量について以下の水準を目指します

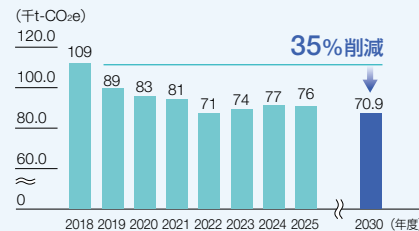
Scope1・2
35%削減(2018年度比)を目指します

Scope3
サプライチェーン全体での削減に取り組みます

Scope1・2排出量

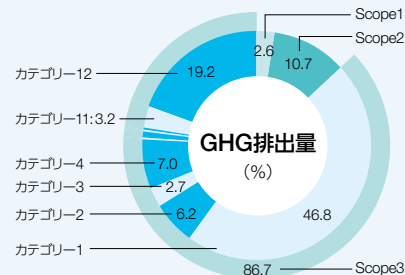
タキロンシーアイグループでは、各拠点での省エネ活動に加え、生産拠点の統廃合などを通じて、Scope1・2排出量の削減を進めてきました。その結果、2025年度の排出量削減率は2018年度比で30%減となりました。今後も2030年度のGHG排出量削減目標の達成に向けて、グループ前拠点での省エネ活動を継続して取り組んでいきます。

GHG排出量(Scope1・2)目標と実績推移



Scope3排出量

Scope3(自社からの直接、間接排出量を除いたサプライチェーン全体で発生するGHG排出量)については、2021年度からグループ全体で1~15の全カテゴリを算定しています。2025年度は中期経営計画達成に向けた設備投資やM&Aの影響もあり2024年度比約5%の増加となりました。引き続き、算定精度を向上させるとともに、排出量削減に取り組んでいきます。



タキロンシーアイの気候変動問題に関する取り組みは、WEBサイトをご覧ください。
https://www.takiron-ci.co.jp/sustainability/environment/climate_change.html

水辺のクリーンエイド

合成樹脂製品を製造・販売するメーカーとしてSDGsの目標の1つである「つくる責任、つかう責任」を果たす意味において、「水辺のクリーンエイド」活動と名付けた社会貢献活動を実施しております。

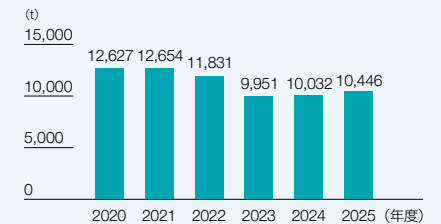


2025年度の水辺のクリーンエイドには、グループ会社も含め累計2014名の方々にご参加いただき、普段接点の少ない方々とも交流を深められる良い機会になりました。また、清掃活動を通じて海洋プラスチックごみの現状を目の当たりにして、製品を作る立場として環境のために何ができるのかを考えるきっかけとなりました。
人事総務部 総務・広報グループ 岡田 紗季

排出物削減

タキロンシーアイグループでは、工場から排出される廃棄物、有価物、専ら物の合計重量を排出物総量とし排出物総量の削減を推進しています。生産拠点の統廃合等により2025年度は排出物が増加しましたが、発生した排出物をグループ内で再利用する取り組みも推進しており、継続して排出物の削減に取り組んでいきます。

排出物総量



TOPIC

ジッパーの端材をハウエル管の中空リブ構造部に再利用

昨今世界的に環境に配慮した取り組みが注目される中、タキロンシーアイグループでは排出物削減推進の一環として、グループ内リサイクル活動を行っています。従来は、発生拠点での廃プラスチックの再利用が中心でしたが、自拠点で再利用ができない場合でも他拠点での利活用を進めています。2025年度は包材製造時に発生する廃プラスチックを土木製品の原料として活用することを実現しました。



サステナビリティの取り組み



タキロンシーアイのサステナビリティに関する取り組みは、WEBサイトをご覧ください。
<https://www.takiron-ci.co.jp/sustainability/>



コンプライアンス

CCO巡回

「現場の課題を一緒に考える」「グループ全体の状況を理解する」をスローガンに、CCO(チーフコンプライアンスオフィサー)が当社グループの各拠点を巡回し、拠点責任者との直接対話を行う取り組みを行っています。2026年度は10か所以上の巡回を予定しており、コンプライアンスに関するグループの状況、留意事項の伝達、「風通しの良い職場づくり」「コンプライアンス違反防止」等をテーマとした拠点責任者との意見交換を行います。各拠点とCCOとの連携を強化し、コンプライアンス違反発生の未然防止に努めます。



ホットライン啓発

2026年度の施策の一つに「内部通報提供制度の強化」を掲げています。2024年度より各種啓発(CCO会議、CCO巡回での周知、各拠点での周知ポスター掲示、研修による周知等)を推進し通報窓口が浸透。2025年度の通報件数は増加(前年比158%)し、残る課題である「ホットラインのさらなる信頼性向上」に取り組みます。



労働安全

安全パトロール

タキロンシーアイグループの全従業員の安全と健康を最優先に、各拠点での安全パトロールを通じて不安全状態や行動を徹底的に改善・指導し、誰もが安心して働ける職場環境の創造をリードしています。

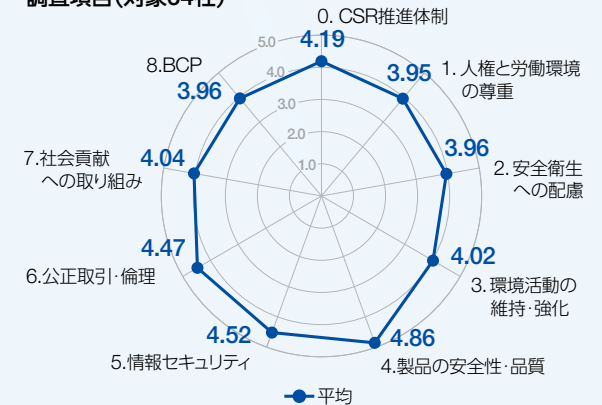


サステナビリティ調達

CSR調達アンケートの実施

タキロンシーアイグループは、人権・安全衛生・環境保全などに配慮した「CSR調達方針」を掲げ、取引先との信頼関係を深めながら、責任ある調達活動を推進しています。2025年度は調達額の約9割を占める72社に対し、人権・環境・BCP等9項目のCSR調達アンケートを実施しました。アンケートのレビューから、サプライヤーとの勉強会や個別面談を通じて、ESGに関する取り組みの実態把握と改善に向けた検討を進め、持続可能な調達体制の強化に努めてまいります。

調査項目(対象64社)



品質

環境配慮型製品の上市

タキロンシーアイグループでは、生産拠点ごとにISO9001の認証を受けた品質マネジメントシステムを導入しています。品質マネジメントシステムでは品質管理だけでなく、化学物質をはじめとする法令対応、地球環境に配慮した環境配慮型製品などの新製品の設計開発もこのシステムに沿って運用をしています。



JQA-2882
JQA-EM0655
JQA-OH0010
タキロンシーアイ(株)
網干工場
プラスチック製品の
設計、開発及び製造